

ふくしまならではのアドベンチャーツーリズム創出事業
公募型プロポーザルに対する質問と回答

2025.7.2
福島県デスティネーションキャンペーン実行委員会

1	募集要領	再委託について、金額及び事業者数の上限などはあるか。	上限は設けておりませんが、履行の全部又は事業の主要な部分を一括して第三者に委託することは禁止しております。	
2	募集要領	決算書の提出について、社の規定によりメンバーは閲覧できないため、封筒に入れたまま封入しても問題ないか。	問題ありません。	
3	仕様書4 (1)コンテンツの選定 ア 観光素材調査	観光素材について10コンテンツ以上を選定とあり、提案要求内容には5つ程度を示すとあるが、どちらが正しいか。	事業実施に当たっては10コンテンツ以上を選定いただきますが、企画提案時にはその全てではなく、5つ程度提案いただくこととしております。	
4	仕様書4 (2)伴走支援 ア プランニング支援	「専門家によるコーチングを必須とし、選定コンテンツそれぞれに専門家を付けること。」とあるが、専門家の分野について指定などはあるか。 また、コンテンツ造成の専門家は、受託事業者内の専門性が高いメンバーでも問題ないか。	インバウンド向けの商品造成に精通していれば、分野は問いません。 また、上記条件を満たしていれば受託事業者内の職員でも問題ありません。	
5	仕様書4 (2)伴走支援 エ 情報発信支援	SNSやWEBサイトによる情報発信の際はこちらも英語、仏語、西語での発信も必要になるか。	情報発信における言語については英語を基本としますが、事業実施にあたり、英語以外の言語圏への発信を行う場合は、英語以外の言語を使用する可能性があります。	
6	仕様書4 (2)伴走支援 エ 情報発信支援 (3)WEBページの制作・運用	(2)(3)との違いについて教えて頂きたい。 (2)は伴走事業者の既存のSNSやWEBサイトに情報掲載、(3)は新たにwebページを制作し「Fukushima Travel」への追加掲載で合っているか。	(2)については、伴走事業者のSNS発信への支援と県観光物産交流協会のSNSでの発信を想定しています。 (3)については、お見込みのとおりです。	
7	仕様書4 (2)伴走支援 カ ガイド育成支援	養成する人数の想定はあるか。 また「支援」の為、受託事業者側では内容の設計などを行い、実際の育成に係る費用については地域事業者側の負担という認識で問題ないか。	1コンテンツあたり2, 3名を想定しています。 また、育成に係る費用については本事業の委託費に含まれます。	
8	仕様書4 (2)伴走支援 ウ 多言語整備支援	「多言語の体験案内ツールの作成支援」とあるが、体験前の案内でイメージは合っているか。	「体験前」、「体験中」の両方を想定しております。	

9	仕様書4 (2)伴走支援 ウ 多言語整備支援 エ 情報発信支援 オ タリフ作成支援	多言語整備支援やタリフ作成支援、情報発信支援について、「支援」なのであくまで作成自体は地域事業者で、翻訳等の費用がかかる場合も地域事業者の負担、ということで問題ないか。	作成及び翻訳等の費用についても本事業の委託費に含まれます。	
10	仕様書4 (2)伴走支援 ウ 多言語整備支援 エ 情報発信支援	多言語整備支援や情報発信支援にはツール等の制作費や情報発信費用も含まれるか。 それとも、あくまで助言や事業者マッチング等にとどめ、発信費用自体は事業者負担となるか。	上記のとおりです。	
11	仕様書4 (2)伴走支援 エ 情報発信支援	「露出拡大のため、SNSやWEBサイトによる情報発信支援をすること。」とあるが、発信SNSアカウントは以下の想定でよいか。 Instageam Rediscover Fukushima: https://www.instagram.com/rediscoverfukushima/ Facebook Travel Fukushima Japan: https://www.facebook.com/travelfukushimajapan/	お見込みのとおりです。	
12	仕様書4 (2)伴走支援 エ 情報発信支援	「情報発信」と「情報発信の『支援』」どちらに重きを置くことを示しているか。	情報発信による露出拡大に重きを置いています。	
13	仕様書4 (2)伴走支援 キ 検証支援	FAMツアーにおける招へい人数の下限 或いは上限の指定などはあるか。	人数については1コンテンツあたり2名ほどを想定しておりますが、下限・上限ともに制限はありません。	
14	仕様書4 (2)伴走支援 キ 検証支援	モニターツアーの想定参加人数は何名以上か。		
15	仕様書4 (2)伴走支援 キ 検証支援	海外現地旅行会社、海外メディアの招聘者は日本支社職員（在日外国人）でも良いか。 また、1回のモニターツアーで3コンテンツ視察頂く事でも良いか。（例：全行程5日間で2/3/4日目に1日1コンテンツの視察）	お見込みのとおりで問題ありません。	
16	仕様書4 (3)WEBページの制作、運用	制作するWEBページの階層数に指定はあるか。	指定はありません。 WEBサイトの訪問者にとって情報を得やすい動線を加味した階層でご提案ください。	
17	仕様書4 (3)WEBページの制作、運用	制作にあたっては、福島県観光物産交流協会よりサイトの編集権限を付与いただき、サイト上で直接制作・編集作業をするという認識で間違いないか。	WEBサイトの運用に関して県観光物産交流協会が委託している事業者との連携（必要に応じ再委託）の上、制作・編集作業を行っていただきます。	

18	仕様書4 (3)WEBページの 制作、運用	運用マニュアル等の作成とは、次年度以降サイト・ページの運営事業者等が変更になった際も、そのマニュアルに沿って作業等出来るようなことをイメージしたマニュアル作成という認識で良いか。	お見込みのとおりです。	
19	仕様書4 (3)WEBページの 制作、運用	「改修」とは何を指すか。「『Fukushima Travel』に本事業用のページを新たに追加し、本事業で造成したモデルコース等の情報を掲載すること」とあるが「本事業用のページを新たに追加」を指しているか。グローバルメニュー等サイトの大幅な改修も視野に入れているか。	「Fukushima Travel」の大幅な改修は想定しておらず、本事業用のページの新規追加とそれに付随する必要な改修を想定しております。	
20	仕様書4 (3)WEBページの 制作、運用	福島県観光物産交流協会が運用するウェブサイト「Fukushima Travel」の制作会社を教えてください。	委託事業者決定後、お伝えします。	
21	仕様書4 (3)WEBページの 制作、運用	福島県観光物産交流協会が運用するウェブサイト「Fukushima Travel」は、CMSを使って作られているか。	CMSを使用し作成しています。	